

使用方法

テープを貼る前に、補修部分の汚れや水分を十分に除いてください。

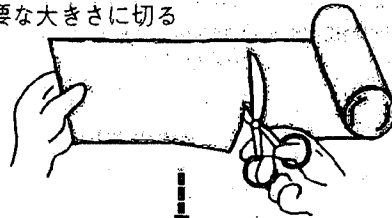
テープを希望の長さ・大きさに切って裏面のシールをはがし、補修箇所に貼りつけます。テープの角を取って丸みをつけますとはがれにくくなります。

すき間ができないよう、よく圧着してください。

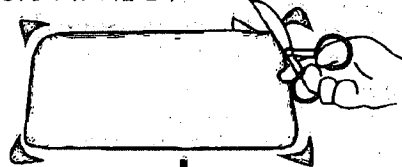
冬期など、外気温が低い時(10℃以下)は、ストーブなどで暖めてから圧着するとよくつきます。

さけ傷などの場合、補修部分を切り抜き、あるいは補修部分の周囲にハサミ・パンチなどで穴をあけてから、両面からテープを貼りあわせテープの粘着面どうしが接着するように圧着するとさらによくつきます。

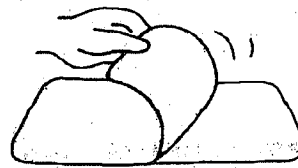
▼必要な大きさに切る



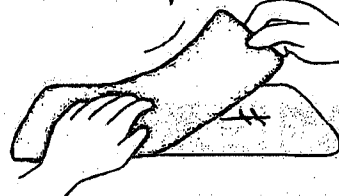
▼角を丸く切り落とす



▼裏紙をはがす



▼貼りつける



取扱上の注意

●ロットNo. による品質、出荷管理について

- 1、膜材料(原反)には、ロットNo. が紙管(内側)に記載されております。
- 2、ロットNo. で品質、出荷管理をいたしておりますので、製品には製造番号を付与し、これに使用した膜材料のロットNo. を必ず記録、保存してください。
※膜材料のロットNo. の記録がない場合、製品に問題が生じて膜材料の品質証明を行う事が困難になります。
- 3、品質には万全を期しておりますが、万が一問題が生じましたら、ただちに製造元または販売元に膜材料の品番とロットNo. を必ず連絡してください。

●廃棄について

膜材料及び膜材料縫製品を廃棄される際は、下記の方法で処理してください。

- 1、廃棄物処理法、都道府県条例等に従って処理してください。
- 2、許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託してください。